JR総連東海地協
第26回定期委員会

11月2日、愛知県「ワークライフプラザ・れあろ」において、JR総連東海地協第26回定期委員会が開催され、委員、来賓を含め35名が結集した。

冒頭、高原議長は「日本は戦前に戻った。安倍首相の顔は戦争屋の顔だ」「たしろさんは私たちのために国会で取り組んでいる。組織に必要な人だ」「JR東労組一部OBによる組織破壊を許さない」と挨拶をした。

来賓の高木副委員長より、取り巻く情勢と課題について挨拶をいただき、たしろ参議院議員より「みなさんの職場の声を結晶にしたものを受け取った。要請行動に参加していきたい」「安倍政権の暴走を止めなくてはいけない」など国政報告を受けた。

委員会では各単組から3名の発言を受け、昨一年間の取り組みの総括と向こう一年間のたたかう方針を満場一致で確認した。

JR総連関東地協
第28回定期総会

JR総連関東地方協議会は11月6日、赤羽会館において第28回定期総会を開催した。来賓としてJR総連・高木副委員長、関東交運労協・宮崎事務局長、たしろ事務所・佐々木政策秘書にご挨拶をいただいた。

宮澤議長は関東地協の課題として、①たしろ応援プロジェクトのたたかい、②安全確立と労使関係について挨拶をした。安保関連法案の強行採決や辺野古新基地建設の工事再開にみられる安倍政権の暴走を食い止め、憲法改悪を阻止するためにも、たしろかおるを応援していくと強い決意が語られた。

総会は、各単組・都県協の代議員から、たしろ応援プロジェクトの苦闘や単組の課題、安保関連法案反対の取り組みや平和研修の取り組み、京浜東北線基地再編のたたかいについて発言が出され、2015年度の運動方針案が満場一致で決定された。

JR総連中国地協
第28回定期委員会

11月8日、JR総連中国地協は、全労済岡山会館に於いて第28回定期委員会を開催し、1年間の総括と向こう1年間の方針を決定した。

主催者を代表して寺本議長は①8・2ヒロシマ集会の成功について②佐賀空港と岩国基地の基地機能強化反対のたたかい③山陽本線の八人山踏切衝突事故に対するたたかい④JR三江線廃止に対するたたかい⑤たしろかおる応援プロジェクトについて挨拶をした。質疑では、西労の委員から平和・安全・たしろかおる応援プロジェクトについて、貨物労組の委員から年末手当闘争の報告とたしろかおる応援プロジェクトについて実践的な発言があった。

委員会終了後は、Stop！オスプレイの会共同代表の森本榮氏より「戦後70年 激動の今、我々はどう生きるのか」と題して講演をうけた。

JR総連北陸地協
第19回定期委員会

2015年11月9日、「上越市レインボーセンター」においてJR総連北陸地協第19回定期委員会が開催され、2015年度運動方針を満場一致で確立した。議長にJR貨物労組の鈴木委員を選出し議事を進行した。来賓のJR総連・榎本書記長から取り巻く情勢と課題について提起がされた。

質疑では、安全と平和、生活と雇用、「たしろかおる応援プロジェクト」の取組み、地方ローカル線の取り組み、北陸新幹線開業後の問題点など、委員より取り組む課題や決意が発言された。「委員会宣言」「安全保障関連法案＝戦争法案の強行可決に抗議する特別決議」「労働者派遣法改正法案の可決・成立に抗議する特別決議」が採択され、中田新議長の団結ガンバローで本委員会を成功裏に終了した。

連合
2016春闘中央討論集会を開催！

連合は11月4～5日、２０１６春闘中央討論集会を開催し構成組織から５５０名が参加し、「２０１６春闘方針・基本構想」をもとに「闘争方針」策定に向け討議をおこなった。集会にはＪＲ総連、ＪＲ東労組、ＪＲ貨物労組が参加した。

主催者を代表し神津会長は、安倍政権の暴走は目に余る。怒りを結集し社会変革のために社会的キャンペーンを継続していく。２０１６春闘は「すべての働く者の処遇改善！『底上げ・底支え』『格差是正』で経済の好循環実現！のスローガンを掲げてたたかっていくと挨拶した。

２つの基調講演のあと、逢見事務局長から「基本構想」が提起され３つの分科会で議論がされた。

ＪＲ総連高木副委員長は、「２％程度」は昨年の「２％以上」より後退した要求となっている。考え方の根拠と春闘の山場について連合の考えを質問した。

ＪＲ総連は、２０１６春闘をＪＲ春闘として各単組と連携し、たたかっていく。

連合
中央女性集会に参加！

10月23日、連合中央女性集会が東京ビッグサイトにて開催され、８９５名が参加した。「男女がともに輝く社会へ！あらゆる分野への男女平等参画を実現しよう！」をメインテーマに、男女雇用機会均等法施行から30年の節目に男女平等をめぐる情勢と課題について提起と講演がされた。国際家事労働者ネットワークのエリザベス・タン事務局長を迎え、海外家事労働者に対する雇用主の非人道的な扱いや虐待・暴力についての報告と社会を動かすため２０２０年までに20万人の外国人家事労働者を組織化する目標が語られた。

性別にかかわらず誰もが個性や能力を発揮できる社会環境の整備、そして仕事と生活の調和を図ることのできるワーク・ライフ・バランス社会の実現、また職場における男女間格差是正の取り組みを積極的に進めることを確認した。

ＪＲ総連は、職場での女性の地位向上と男女平等参画社会の実現のため、これからも国内外の仲間と連帯していく。

参議院議員 たしろ かおる便り

戦後最長の通常国会が終わり、今、北海道から九州まで全国のＪＲ総連傘下の各単組を訪問しています。今年は、例年より少しだけ秋の訪れも早く各地の紅葉も早まっていると聞き、とても楽しみにしています。

さて、ＴＰＰが概ね合意されたと昨今、政府の発表がありましたが、ＪＲにどの様な影響があるのか気になるところです。農産物自給の問題や食料品の安全性はじめＩＳＯ条項と著作権の問題など懸念する点がそっくり解決しないままです。おおむね合意という曖昧なマスコミ報道からは本質が見えてきません。アメリカはじめ各国が批准できるのか定かではないのが現実です。

また、内部告発によって判明したこの度のマンション建設の杭打ちデータ偽装問題は、一企業の企業倫理の問題ではなく日本の建設行政と建設業界が国民の命と財産をないがしろにしていることの証左です。住民のみなさんにとっても大変深刻な問題であります。直ちに臨時国会を開会し、各委員会でこれらの事案について原因究明し、対策を講じていく事は、与野党を問わず国民に対する責任であります。しかし、安倍政権は外交日程を口実に臨時国会を開こうとはしません。予算委員会など、一部の委員会を開く閉会中審査で議論を交わそうとしています。安倍政権は、海外での諸会議等外遊を優先し、国民の生活を左右する国内問題を来年の通常国会に後回しにしようとしているのです。このような国民軽視、国会軽視が許されるものではありません。臨時国会を開会しないという事は、明らかに国民から逃げているとしか見えません。

過去に臨時国会が招集されなかった事は小泉政権の２度のみで、憲政史上極めて異例なことであり、少数派を尊重した53条の憲法違反と考えるべきです。

現政権の国民に対する姿勢は、憲法違反をしてでも安保法制を強引に押し通したり、国民の生活に直結する問題は無視を決め込むなど言語道断の政権であります。

この様な国民軽視の政権を看過するわけにはいきません。今の政治情勢をふまえ野党がしっかりと連携をとり、真に働く者、市民の立場に立った政治を実現させるための取り組みが喫緊の課題と考えています。

注：憲法53条後段に衆参のいずれかの4分の1以上の要求があった場合可及的速やかに臨時国会を召集するよう義務づけている。

JR総連
5連協秋レクを開催！ 家族の笑顔が満開！

JR総連・5連協の2015年秋レクが鉄研労の準備で10月24日(土)48名が参加する中、葛西臨海水族公園で開催された。

5連協各単組からの参加者は、休日の家族サービスもかね、水族公園を見学し、クロマグロの元気な姿やタッチプールで海の生物に触れ楽しい一日を過ごした。

交流会では、「おもしろ写真大会」や「隠しお題と一致写真大会」など水族園を散策するなかでチームと個人で撮った写真をめぐり、景品が当たるなど楽しい企画が満載で大人も子供も大満足の楽しい一日となった。

5連協(鉄研労、システム労、ソフトバンク労組、聚楽労組)は、まったく違う業種の労働組合の集まりだが、JR総連の旗の下、日常活動やレクレーションを通じて単組どうし組合員どうしの親睦を深めている。

水族公園前にて

オーストラリア鉄道・トラム・バス労組定期大会に参加！

JR総連は、10月27日～29日、オーストラリア鉄道・トラム・バス労組定期大会への招待を受けて、榎本書記長を派遣した。

オーストラリア鉄道・トラム・バス労組の定期大会はオーストラリアのシドニーで開催され、来賓にはJR総連のほか、労働党など政党関係が多く出席し、たたかいの報告と連帯するメッセージが送られた。

榎本書記長は、ラグビーのワールドカップイングランド大会でオーストラリアの決勝進出をたたえ、日本の南アフリカに勝利するなど3勝を挙げる快進撃を伝え、会場からは大きな拍手があった。またもうひとつの日本の大きな出来事として、戦後70年の節目の年に、安倍政権の進める安保関連法案が可決・成立し、平和の国・日本が戦争のできる国へと大きく舵をきったこと、そしてそれに抗するたたかいが全国で大きくつくりだされたことを紹介した。またオーストラリアをはじめアジア各国に植民地支配と侵略によって多大な損害と痛苦を与えたことを謝罪し、JR総連は過去と向き合う責任を自覚することを述べ、大きな拍手がおくられた。

JR総連はこの間つくりあげてきた国際連帯を大事にし、さらに連帯を広げるために奮闘していく。

あなたと家族に安心届けます。保険はまかせてください。

《取扱商品》
- 自動車保険・組合主催行事保険・ゴルファー保険
- がん保険・医療保険
- ＪＲ積立年金
- 組合旗・組合バッジ・ゼッケン
- 健康食品・自然食品・お茶・みかん

JR総連・各JR労組賛助団体
㈱鉄道ファミリー
〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13 TEL 03(3490)3862 JR(058)4114・5